

令和7年7月教育委員会定例会議事録

- 1 日時 令和7年7月9日（水） 午後1時30分から
- 2 場所 鈴鹿市役所 本館11階 教育委員会室
- 3 出席 教育長 （廣田隆延）
教育委員会委員（笠井智佳、松嶋康博、服部直美、加藤貴也）
- 4 議場に出席した職員
教育委員会事務局教育次長（永井洋一）、教育委員会事務局参事（磯部仁）、参事兼教育総務課長（横木一郎）、参事兼教育政策課長（白木敏弘）、参事兼学校教育課長（藤見忠）、教育指導課長（上田由実子）、教育支援課長（鈴木康仁）、文化振興課長（柳井谷光教）、こども育成課副参事兼管理グループリーダー（森詳之）、書記（木葉健介）、書記（久住孝大）
- 5 議事
- 6 報告事項
 - (1) 中学生ピロリ菌検査実施について (学校教育課)
 - (2) 市民学習活性化事業 すずか市民アカデミー「まなベル」について (文化振興課)
 - (3) 令和8年度鈴鹿市立幼稚園入園児募集要項について (こども育成課)
- 7 その他
 - (1) 令和7年8月教育委員会定例会の開催について (教育総務課)
- 8 傍聴人1名

(教育長) 皆様、こんにちは。定刻となりましたので、ただ今から令和7年7月教育委員会定例会を開催します。本日の議事録署名委員は、加藤委員にお願いいたします。

(教育長) それでは、報告事項に入ります。報告事項1番目の「中学生ピロリ菌検査実施について」をお願いいたします。

(参事兼学校教育課長) それでは、私からは報告事項(1)「中学生ピロリ菌検査実施」につ

きまして、6月24日（火）に開催されました第11回検討委員会の内容について報告いたします。資料1ページ上段を御覧ください。初めに、1（1）令和6年度実施結果及び令和7年度実施状況につきまして、地域医療推進課から報告がありました。検査対象者数に大きな違いはございませんが、検査希望者数、1次受検者数、受検率ともに、令和7年度は、初年度に当たる令和6年度を上回る結果となりました。7月現在、1次検査結果精査及び2次検査案内の準備を進めているところでございまして、8月以降、医療機関にて2次検査の実施を予定しています。その後、1（2）令和7年度（1次検査実施まで）について振り返り、課題等を整理いたしました。学校検尿と同日に、ピロリ検査尿を回収することで、受検率が上がったが、受検率をさらに高めること、外国籍の生徒や、保護者に伝わるようにすること、初見である中学2年生に、事前に啓発することなどが、整理されました。最後に、令和7年度の課題等を踏まえ、1（3）令和8年度に向けた協議を行いました。1次検査を終えた段階ではありますが、検査案内、検査容器の配布方法、検査に係る同意書、ピロリ検査尿の回収場所について出された意見が実施可能かどうかを確認しているところでございます。説明は以上でございます。

（教育長）ただ今の報告に御質問、御意見がございましたらお伺いしたいと思います。

（笠井委員）今回のピロリ菌検査は、令和6年度に比べて令和7年度は受検率が上がったことですが、せつかくの事業ですので、今後も受検率が上がっていくように協力体制を取りながら進めていただけたらと思います。

（服部委員）資料には、外国籍の生徒や保護者から問い合わせがあったと書かれていますが、どのような問い合わせでしたでしょうか。詳しいことが分かれば教えていただけますか。

（参事兼学校教育課長）具体的には「提出する日がよく分からなかった。」「いつ出せばいいのか。」「という回収日に関することや、「これは受けなければならないのか。」「といった問い合わせがあったと聞いております。

（松島委員）受検率が増えてきて良い傾向だと思います。ただ、推進していくことに対して少し気になるのが、（3）「令和8年度に向けた協議内容」のところで、「同意書を『不同意』のみ提出とすることができないか。」という意見が出されたので、検討していくということだと思いますが、これは非常に危険であると感じます。不同意を提出しなければ、自動的に同意とみなすということに繋がりがねないので、基本的には同意を前提として、進めていただく方が良いのではないかと思いますので、意見として出させていただきます。

（参事兼学校教育課長）御意見いただいたところですが、やはりこの検査の内容について、

きちんと生徒や保護者に周知を徹底していきたいと考えております。

(加藤委員) 学校検尿とピロリ菌検査の容器を一緒にすることと、同意書をひとつにまとめることについて、同意書をひとつにまとめるというのはどういうイメージなのでしょう。詳細は決まっていなくてもいいかもしれませんが、例えば、学校検尿自体も「受けない」ということに繋がらないようになっているのか、お分かりの範囲で構いませんので教えてくださいませんか。

(参事兼学校教育課長) まず、学校検尿は必ず受けなければならないものですので、同意書等の書類は一切ございません。この同意書というのは、ピロリ菌検査に関することです。イメージとしましては、仮にピロリ菌検査を受けない場合には、ひとつの袋の中に検尿容器とピロリ菌検査の空容器、「同意しません」と書かれた同意書が入っているという形になると思います。

(加藤委員) 混乱がないように、どうやってきちんと説明していくかがとても大事だと思いますので、よろしくお願いします。

(服部委員) 資料(3)の案内と回収場所のところで、学校検尿とピロリ菌検査を同時にというのは、同じ日に持ってくるということですよ。これは効率性を考えてということでしょうか。

(参事兼学校教育課長) 今年実施した際には、回収場所が離れていることから少し混乱があったと聞いております。生徒が提出する手間を考えると一度に出せた方が良いのではないかとということで、可能かどうかをこれから学校と確認していく必要があると考えております。

(服部委員) 養護の先生が担当されると思いますが、先生方の負担にならないよう、養護の先生がやり易い方法を取っていただけるとありがたいと思いますので、よろしくお願いします。

(教育長) それでは、次の報告事項に移ります。報告事項2番目の「市民学習活性化事業すずか市民アカデミー「まなベル」について」をお願いいたします。

(文化振興課長) それでは、私からは報告事項の2番目「市民学習活性化事業すずか市民アカデミー『まなベル』」につきまして、本年度の概要を報告いたします。資料の2ページを御覧ください。平成25年度から学官連携の取組として始まりましてすずか市民アカデミー

「まなベル」は、市内の高等教育機関と連携し、市民の「さらに詳しく知りたい」という専門的分野への学習ニーズに応えるとともに学ぶことの楽しさを実感していただき、生涯学習をさらに深めていくことが目的の事業でございます。今年度も昨年度と同様、鈴鹿大学、鈴鹿大学短期大学部、鈴鹿工業高等専門学校、鈴鹿医療科学大学の4校で6講座を実施いたします。各教育機関が持っている特徴を生かし、様々な分野において、専門性のある教育内容を分かりやすく、楽しい講座として提供させていただいており、9月から11月の期間に6講座を開講する予定でございます。内容につきましては、記載のとおりでございます。

次に、資料3ページを御覧ください。今年度から新たな企画として7月13日に三重県生涯学習センターで行われる講座を後日、市役所の会議室をサテライト会場として7月16日の午前と午後の2回、アーカイブ配信をするものでございます。受講してみたいが、三重県生涯学習センターまで行くことが困難な方たちにも幅広く生涯学習の場を提供することが目的でございます。

次に、資料4ページを御覧ください。特別講座として2講座予定しております。資料は1講座のみを掲載しております。1つ目は、8月23日に東洋大学との共催事業として講師を派遣してもらい、現代社会の中で身近に起こっている問題について、身の守り方の講座を開催する予定でございます。2つ目は、現在調整中ございまして、来年の1月には、本市と包括連携協定を結んでおります企業と共催事業として講師を派遣してもらい、開催する予定でございます。各講座の募集につきましては、広報すずかや市のウェブサイト等に掲載するほか、チラシについては、公民館などの施設に配布する予定でございます。以上でございます。

(教育長) ただ今の報告に御質問、御意見がございましたらお伺いしたいと思います。

(笠井委員) 今年度から新たな取組として、現地に来られない方にもオンライン講座を提供するというのは、素晴らしい取組であると思います。コロナ禍でこのようなオンライン講座ができたらいという積み重ねがあったかと思います。このタイミングでできるようになった、前進した理由を教えてください。

(文化振興課長) 理由としましては、会場が用意できれば無料で配信ができるという募集があったこと、また、本市におけるDXの推進の一環として、新しい取組としてやってみようということで開催させていただくこととなりました。現在、募集定員30人のところ、申込は本日現在で10人程度です。昨年度、日曜日に鈴鹿市役所庁舎で開催した際には、午前・午後で各100人程度の参加がありましたので、そこと比較すると人数は少ない部分があるかと思いますが、このような募集を契機に、新たな試みとして取り組んでいるところでございます。

(服部委員)「まなベル」についていつも思うのですが、すごく良いネーミングですね。掛詞が素敵であると思っています。資料2ページに記載されている事業は既に何回もあると思うのですが、定員が50人程度とありますが、毎年どのくらいの方々に御参加いただいているのでしょうか。

(文化振興課長) 講座内容や曜日にもよるのですが、これまでの傾向で見ると、定員50人であっても満員になることはありません。多くて30人から40人、少なくとも10数名です。詳細な資料はございますので、後日報告させていただくことも可能ですが、平均としては約30人程度です。

(加藤委員) 細かい点で言葉についてお聞きしたいのですが、先ほどの三重県生涯学習センターの講座が「オンライン講座」となっています。オンライン講座というのは、感覚的にリアルタイムでオンライン受講するイメージがあり、ビデオを見るのであれば「オンデマンド講座」や、集まって見るのであれば、言葉に少し違和感を覚えたのですが、どのようなイメージなのかお聞きできればと思います。

(文化振興課長) 委員がおっしゃるように、違和感がある部分がございます。「オンライン講座」という形で発信しておりますが、先ほど申し上げましたように「アーカイブ配信」として、以前に撮影したものを後で見るという形となっています。当初想定していたのは、離れた場所でリアルタイムに質疑もできるような体制が可能な無料講座を検討していたのですが、なかなかそういったものがなかったため、このような形となりました。今後、同じような講座を企画することがあれば、表現には注意させていただこうと思います。

(教育長) それでは、御意見もないようですので、次の報告事項に移ります。報告事項3番目の「令和8年度鈴鹿市立幼稚園入園児募集要項について」をお願いいたします。

(こども育成課副参事兼管理グループリーダー) それでは、私からは、報告事項3番目の「令和8年度鈴鹿市立幼稚園入園児募集要項について」、説明申し上げます。5ページを御覧ください。まず、「募集対象」についてになりますが、市内に居住している又は入園までに転入を予定している幼児のうち、5歳児は、令和2年4月2日から令和3年4月1日生まれの者、4歳児は、令和3年4月2日から令和4年4月1日生まれの者、3歳児は、令和4年4月2日から令和5年4月1日生まれの者が対象となります。

次に、「定員及び連絡先」でございますが、表にして、募集する幼稚園及び定員を一覧にして、記載しております。なお、表の欄外には、補足説明を記載しております。1点目は、「休園の考え方」についてでございますが、3歳児を除いた在園児を含む園児数が15人未

満となった場合は、休園となること、4歳児・5歳児クラスにおいて、各学年の園児数が8人未満の場合は、複式学級となることを記載してします。2点目は、募集の結果、定員を超えた場合の取扱いについて、記載しており、定員超過の場合は、抽選を行うこと、ただし、3歳児又は4歳児から進級する園児については優先し、その他の者で抽選を行うこととしています。

次に「入園手続」についてでございますが、入園願及び募集要項は、8月1日(金)から、各幼稚園で配布する予定でございます。幼稚園から配布される入園願に必要事項を記入し、入園を希望する幼稚園に提出していただきますが、公立幼稚園間の併願は認めておりませんので、希望する公立幼稚園1園のみに提出していただくことになります。最後に「募集期間」についてでございますが、令和7年9月1日(月)から同月19日(金)までの期間で、受付時間は9時から16時までとしています。ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日は除きます。なお、この幼稚園の園児募集につきましては、広報すずか8月5日号にて、記事を掲載し、市民の皆様にお知らせをする予定でございます。報告は、以上でございます。

(教育長) ただ今の報告に御質問、御意見がございましたらお伺いしたいと思います。

(松蔦委員) 先ほどもDXの話がありましたが、こちらの申込みはやはり来園して手続きをする形ですね。9月1日から19日までで土日祝日を除くと、14日間になります。今回間に合うかどうか分かりませんが、こちらの申込みも今後はウェブ上で行うことも検討していただければと思いますので、意見として出させていただきます。

(こども育成課副参事兼管理グループリーダー) 委員の御意見は、今後の課題として検討させていただきます。

(教育長) それでは、その他事項に移ります。「令和7年8月教育委員会定例会及び懇談会の開催について」をお願いします。

(参事兼教育総務課長) 令和7年8月教育委員会定例会でございますが、令和7年8月5日(火)午後1時30分から教育委員会室において、開催したいと存じます。また、定例会終了後に令和6年度教育委員会活動の点検・評価についての懇談会を開催したいと存じます。

(教育長) ただ今の提案に、御異議ございませんでしょうか。

(委員一同) 異議なし

(教育長) 御異議がないようですので、教育総務課長が説明いたしました日時、場所において、それぞれの会議を開催することにいたします。

(教育長) 以上をもちまして令和7年7月教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。

7月教育委員会定例会終了 午後1時53分

以上会議の顛末を録し、ここに署名する。

教育長 廣田 隆延

委員 加藤 貴也